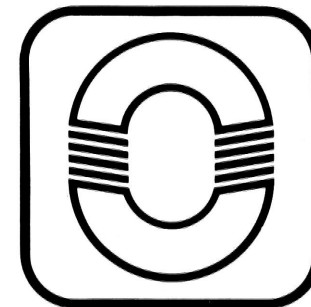


Nakamura SCIENTIFIC CO., LTD.

KN 増幅器(スクールアンプ)

SA-150N型



使用説明書

CAT. NO. B-2510

KN 中村理科工業株式会社

明日の理科機器を創造する

本社 〒101 東京都千代田区外神田5-3-10

☎(03)833-0741(代表) TELEX.265-7245KNT

大分出張所 〒874 大分県別府市南石垣5-3

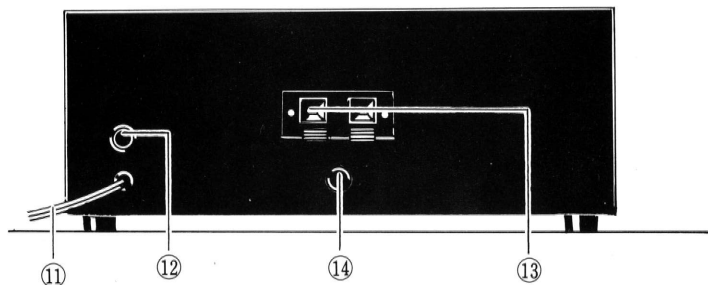
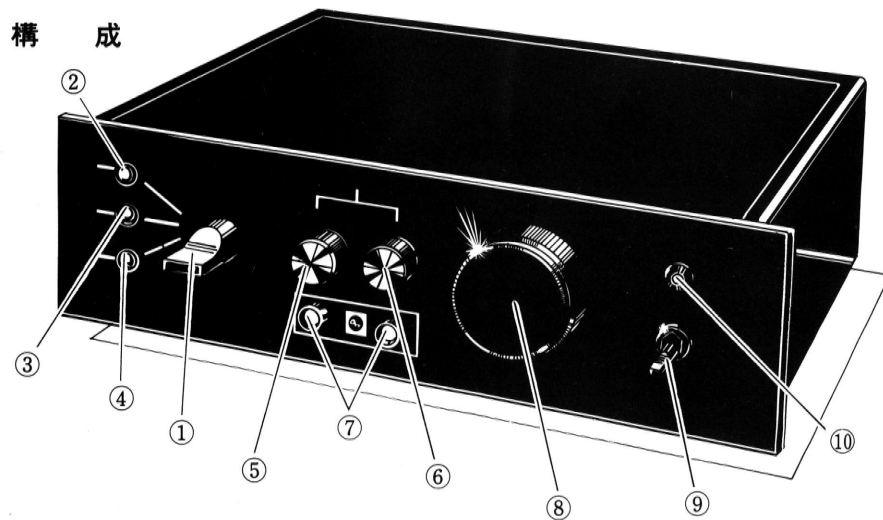
☎(0977)24-2009 TELEX.7733-16KNB

Nakamura

増幅器(スクールアンプ)SA-150N型

増幅器の理解に便利なように半透明な上蓋にブロックダイアグラムを印刷し、内部の回路構成が見られるようになっています。

構 成



- ①入力選択用つまみ……マイク・レコード・予備入力の三段切換。
- ②マイクロフォンからの信号入力ジャック。
- ③チューナー、テープレコーダー等の信号入力ジャック。
- ④レコードプレーヤーからの信号入力ジャック。
- ⑤低音調整用つまみ……左・右まわしで変化量 $\pm 14\text{dB}$ (50Hz)
- ⑥高音調整用つまみ……左・右まわしで変化量 $\pm 12\text{dB}$ (15KHz)
- ⑦小信号出力端子……入力選択つまみ(FUNCTION)をMICまたはPHONOにしたとき、ヘッドアンプまたはイコライザーアンプで増幅された信号電圧が、また、AUXにしたときは、入力に接続された信号電圧がそのままとりだせ、オシロスコープに接続し、波形として観察ができます。

- ⑧音量調節つまみ……右まわしで出力が大きくなります。
- ⑨電源スイッチ。
- ⑩パイロットランプ。
- ⑪電源プラグつきコード。
- ⑫電源入力側ヒューズホルダー (1 A ガラス管ヒューズ使用)。
- ⑬出力端子……インピーダンスが $4 \sim 16\Omega$ のスピーカーを接続します。
- ⑭出力ヒューズホルダー (2 A ガラス管ヒューズ使用)。

操 作

1. 出力端子にスピーカー (インピーダンス $4 \sim 16\Omega$ のもの) を接続します。入力コードのプラグを電源AC 100V (50/60Hz) につなぎます。
2. 音質調整つまみ (高音TREBLE・低音BASS) をそれぞれ中央に、音量調整つまみは左いっぱいまわしておきます。
3. 入力選択つまみ (FUNCTION) を希望する入力に切替えて入力ジャックに目的の信号電圧を接続し、電源スイッチをONにします。
4. 音量調節つまみを右にまわしながら出力を調整します。

〔注 意〕

1. 使用する接続コードにはシールド線を用い、シールド側が接地 (アース) になるように接続します。
2. 出力端子にインピーダンスが 4Ω 以下のスピーカーを接続したとき、または、出力をショートさせたときは、出力ヒューズが切れます。

規 格

最 大 出 力: 15W以上 (8Ω) ひずみ率 20W時 0.5%

周 波 数 特 性: 20Hz ~ 60KHz ($\pm 3\text{dB}$ 以内)

電 圧 利 得: 30.5dB (0.1W時)

全高調波歪率: 0.2% (P.O. 0.1W)

出力雑音電圧: 1.5 mV以下

トーンコントロール

高音変化量: $\pm 12\text{dB}$ (15KHz)

低音変化量: $\pm 14\text{dB}$ (50Hz)

PHONO: 入力インピーダンス $50\text{K}\Omega$ 、最大入力電圧 100mV、入力感度 5 mV、ひずみ率 0.2%、RIAA偏差 $\pm 1\text{dB}$

M I C: 入力インピーダンス $50\text{K}\Omega$ 、最大入力電圧 100mV、利得40dB
ひずみ率 0.2%

A U X: 入力インピーダンス $100\text{K}\Omega$ 、定格入力電圧 50mV